Cloud Manager の管理

Cloud Manager 3.7

NetApp
March 25, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/occm37/task_updating_cloud_manager.html on March 25, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Cloud Manager の管理 1
Cloud Manager を更新しています 1
Cloud Central アカウントでのワークスペースとユーザの管理 2
Cloud Volumes ONTAP の動作環境を削除しています 5
プロキシサーバを使用するように Cloud Manager を設定しています 6
Cloud Manager の HTTPS 証明書を更新します 7
Cloud Manager をリストアしています 7
Cloud Manager をアンインストールしています 8

Cloud Manager の管理

Cloud Manager を更新しています

Cloud Manager は、最新バージョンにアップデートすることも、ネットアップの担当者が共有しているパッチを使用してアップデートすることもできます。

自動更新を有効にする

新しいバージョンが利用可能になると、 Cloud Manager は自動的に更新されます。これにより、最新バージョンが実行されていることを確認できます。

このタスクについて

Cloud Manager は、実行中の処理がない場合、自動的に深夜 12 時に更新されます。

手順

1. Cloud Manager コンソールの右上にある設定アイコンをクリックし、 * Cloud Manager 設定 * を選択します。
2. Automatic Cloud Manager Updates の下のチェックボックスを選択し、 * Save * をクリックします。

Cloud Manager を最新バージョンに更新しています

Cloud Manager への自動更新を有効にする必要がありますが、 Web コンソールから直接手動で更新することもできます。Cloud Manager は、 AWS の NetApp 所有 S3 バケットからソフトウェアアップデートを取得します。

作業を開始する前に

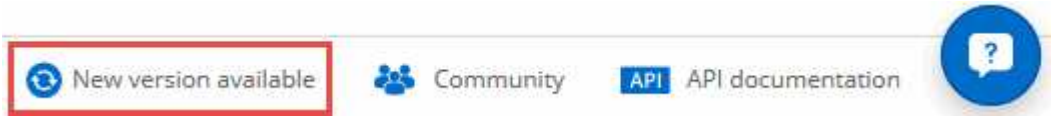
を確認しておきます "このリリースの新機能" をクリックして、サポートに関する新しい要件と変更点を特定します。

このタスクについて

ソフトウェアの更新には数分かかります。Cloud Manager は更新中に使用できません。

手順

1. コンソールの右下隅を見て、新しいバージョンが使用可能かどうかを確認します。



2. 新しいバージョンが利用可能な場合は、 [タイムライン *] をクリックして、進行中のタスクがあるかどうかを確認します。

   処理中のタスクがある場合は、完了するまで待ってから次の手順に進みます。

3. コンソールの右下にある [新しいバージョンを使用可能にする *] をクリックします。
4. Cloud Manager の Software Update ページで、目的のバージョンの横にある * Update * をクリックしま

す。

5. 確認ダイアログボックスに入力し、 * OK * をクリックします。

結果

Cloud Manager が更新プロセスを開始します。数分後にコンソールにログインできます。

パッチを使用した **Cloud Manager** の更新

ネットアップがパッチを共有している場合は、 Cloud Manager Web コンソールから直接、提供されたパッチを使用して Cloud Manager を更新できます。

このタスクについて

通常、パッチの更新には数分かかります。Cloud Manager は更新中に使用できません。

手順

1. Cloud Manager コンソールの右上にある設定アイコンをクリックし、 * ソフトウェア更新 * を選択します。

2. リンクをクリックして、提供されたパッチで Cloud Manager を更新します。

3. 確認ダイアログボックスに入力し、 * OK * をクリックします。
4. 提供されたパッチを選択します。

結果

Cloud Manager はパッチを適用します。数分後にコンソールにログインできます。

Cloud Central アカウントでのワークスペースとユーザの管理

"初期セットアップを実行したあと"を使用すると、ユーザ、ワークスペース、およびサービスコネクタの管理が必要になる場合があります。

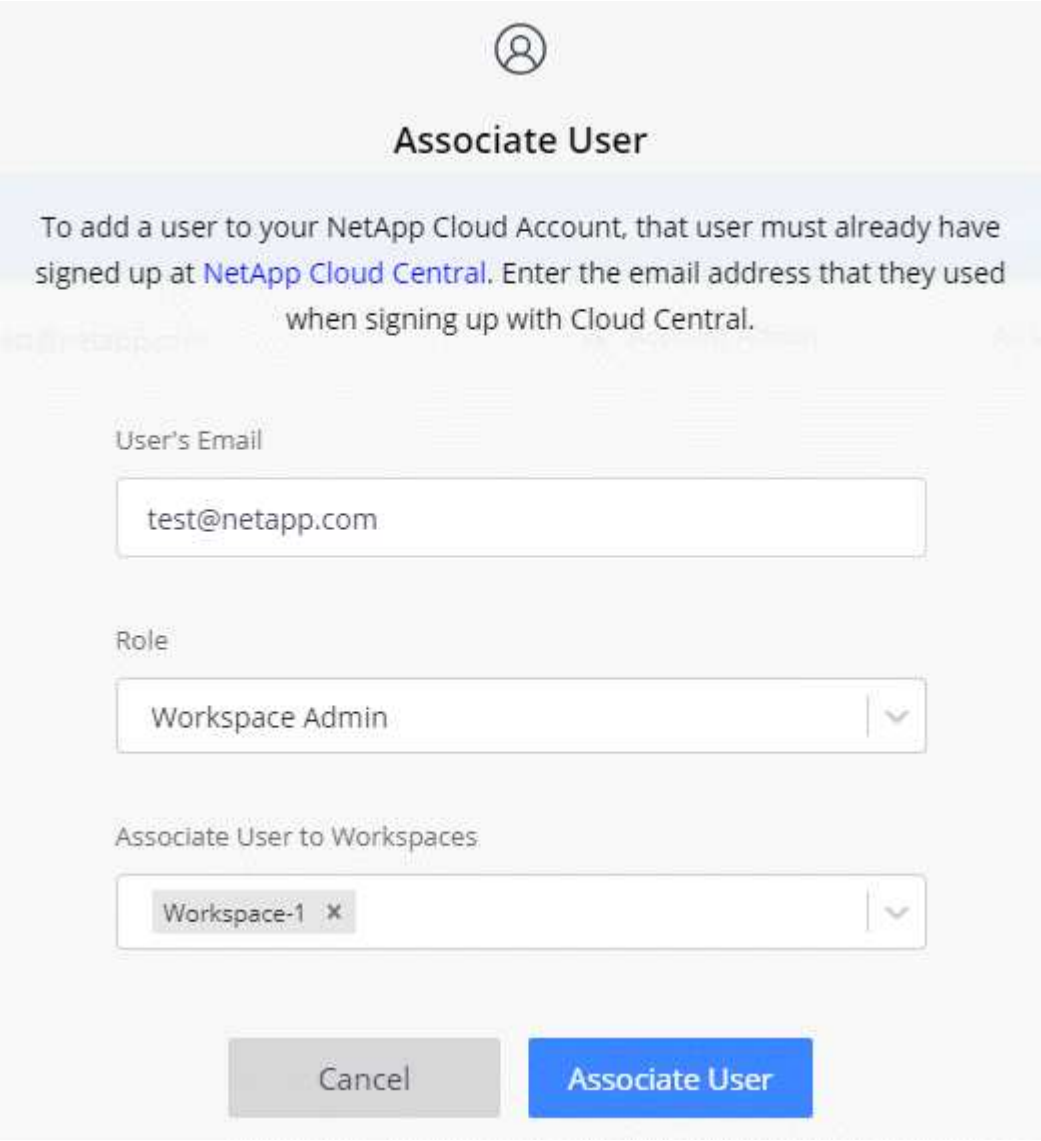
"Cloud Central アカウントの仕組みの詳細については、こちらをご覧ください"。

ユーザを追加する

Cloud Central ユーザを Cloud Central アカウントに関連付けて、これらのユーザが Cloud Manager で作業環境を作成および管理できるようにします。

手順

1. ユーザーがまだ行っていない場合は、にアクセスするようにユーザーに依頼します "NetApp Cloud Central" アカウントを作成します。
2. Cloud Manager で、 * アカウント設定 * をクリックします。
3. [ユーザー] タブで、 [ユーザーの関連付け] をクリックします。
4. ユーザの E メールアドレスを入力し、ユーザのロールを選択します。
   - * アカウント管理者 * ： Cloud Manager で任意の操作を実行できます。
   - * ワークスペース管理者 * ：割り当てられたワークスペースでリソースを作成および管理できます。
5. Workspace Admin を選択した場合は、 1 つ以上のワークスペースを選択してそのユーザーに関連付けます。



6. [ユーザーの関連付け] をクリックします。

結果

ユーザには、 NetApp Cloud Central の「 Account Association 」というタイトルの E メールが送信されます。 E メールには、 Cloud Manager にアクセスするために必要な情報が記載されています。

結果

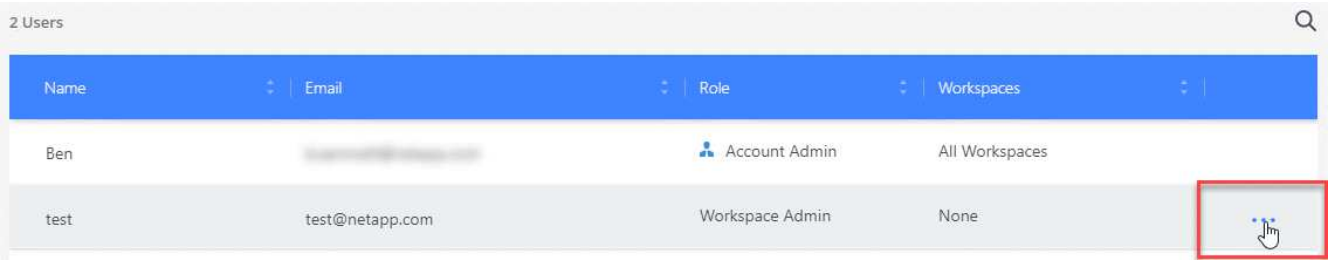
ユーザには、 NetApp Cloud Central の「 Account Association 」というタイトルの E メールが送信されます。 E メールには、 Cloud Manager にアクセスするために必要な情報が記載されています。

ユーザの削除

ユーザの関連付けを解除すると、 Cloud Central アカウント内のリソースにアクセスできなくなります。

手順

1. 「 * アカウント設定 * 」をクリックします。
2. ユーザに対応する行のアクションメニューをクリックします。



3. [ユーザーの関連付けを解除（ Disassociate User ）] をクリックし、 [関連付けを解除（ Disassociate ）] をクリックして

結果

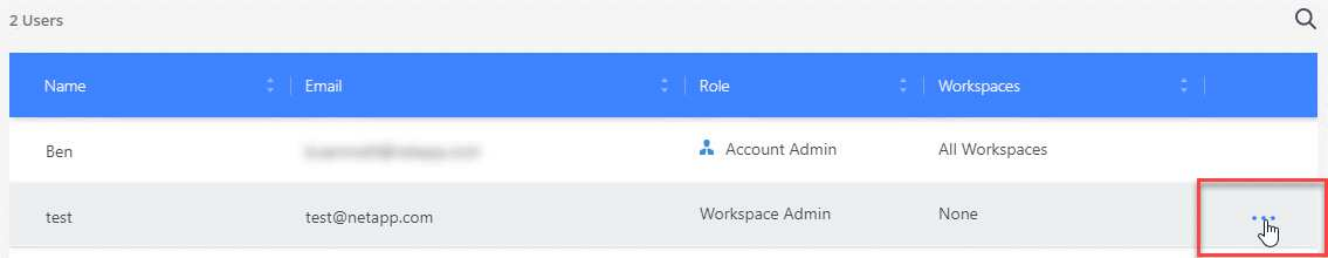
ユーザはこの Cloud Central アカウントのリソースにアクセスできなくなります。

ワークスペース管理者のワークスペースの管理

ワークスペース管理者は、いつでもワークスペースに関連付けたり、ワークスペースと関連付けを解除したりできます。ユーザーを関連付けると、ワークスペース内の作業環境を作成して表示できます。

手順

1. 「 * アカウント設定 * 」をクリックします。
2. ユーザに対応する行のアクションメニューをクリックします。



3. * ワークスペースの管理 * をクリックします。
4. ユーザーに関連付けるワークスペースを選択し、 * 適用 * をクリックします。

結果

サービスコネクタもワークスペースに関連付けられていれば、ユーザは Cloud Manager からこれらのワーク

スペースにアクセスできるようになりました。

ワークスペースの管理

ワークスペースの作成、名前の変更、および削除により、ワークスペースを管理します。ワークスペースにリソースが含まれている場合、ワークスペースは削除できません。空である必要があります。

手順

1. 「 * アカウント設定 * 」をクリックします。
2. [* ワークスペース *] をクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを選択します。
    - 新しいワークスペースを作成するには、 * 新しいワークスペースを追加 * をクリックします。
    - * 名前変更 * をクリックして、ワークスペースの名前を変更します。
    - ワークスペースを削除するには、 * 削除 * をクリックします。

サービスコネクタのワークスペースを管理する

サービスコネクタをワークスペースに関連付けて、 Workspace 管理者がこれらのワークスペースに Cloud Manager からアクセスできるようにする必要があります。

アカウント管理者のみがいる場合は、サービスコネクタをワークスペースに関連付ける必要はありません。アカウント管理者は、デフォルトで Cloud Manager のすべてのワークスペースにアクセスできます。

"ユーザー、ワークスペース、サービスコネクタの詳細をご覧ください"。

手順

1. 「 * アカウント設定 * 」をクリックします。
2. サービスコネクター * をクリックします。
3. 関連付けるサービスコネクタの [ワークスペースの管理 *] をクリックします。
4. サービスコネクタに関連付けるワークスペースを選択し、 * 適用 * をクリックします。

Cloud Volumes ONTAP の動作環境を削除しています

アカウント管理者は、 Cloud Volumes ONTAP 作業環境を削除して別のシステムに移動したり、検出に関する問題のトラブルシューティングを行ったりできます。

このタスクについて

Cloud Volumes ONTAP の作業環境を削除すると、 Cloud Manager から削除されます。Cloud Volumes ONTAP システムは削除されません。作業環境は後で再検出できます。

Cloud Manager から作業環境を削除すると、次のことが可能になります。

- 作業環境を別のワークスペースで再検出します
- 別の Cloud Manager システムから再検出します

- 初期検出中に問題が発生した場合は、再検出します

手順

1. Cloud Manager コンソールの右上にある設定アイコンをクリックし、 * Tools * を選択します。

2. [ツール] ページで、 [* 起動 *] をクリックします。
3. 削除する Cloud Volumes ONTAP の作業環境を選択します。
4. [レビューと承認] ページで、 [* 移動] をクリックします。

結果

Cloud Manager は、作業環境を削除します。ユーザーは、この作業環境をいつでも [作業環境] ページから再検出できます。

プロキシサーバを使用するように **Cloud Manager** を設定しています

Cloud Manager を初めて導入するときに、システムにインターネットアクセスがない場合は、プロキシサーバの入力を求めるプロンプトが表示されます。また、 Cloud Manager の設定からプロキシを手動で入力および変更することもできます。

このタスクについて

インターネットへのすべての HTTP 通信にプロキシサーバを使用するように社内ポリシーで指示されている場合は、そのプロキシサーバを使用するように Cloud Manager を設定する必要があります。プロキシサーバは、クラウドまたはネットワークに配置できます。

プロキシサーバを使用するように Cloud Manager を設定すると、 Cloud Manager 、 Cloud Volumes ONTAP 、および HA Mediator はすべてプロキシサーバを使用します。

手順

1. Cloud Manager コンソールの右上にある設定アイコンをクリックし、 * Cloud Manager 設定 * を選択します。

2. HTTP プロキシで、構文を使用してサーバを入力します http://address:portをクリックして、サーバーの基本認証が必要な場合はユーザー名とパスワードを指定し、 * 保存 * をクリックします。

> Cloud Manager では、 @ 文字を含むパスワードはサポートされていません。

結果

プロキシサーバを指定すると、 AutoSupport メッセージの送信時にプロキシサーバを使用するように、新しい Cloud Volumes ONTAP システムが自動的に設定されます。ユーザが Cloud Volumes ONTAP システムを作成する前にプロキシサーバを指定しない場合は、 System Manager を使用して、各システムの AutoSupport オプションでプロキシサーバを手動で設定する必要があります。

Cloud Manager の HTTPS 証明書を更新します

Cloud Manager Web コンソールへの安全なアクセスを確保するために、 Cloud Manager HTTPS 証明書は有効期限が切れる前に更新する必要があります。証明書の有効期限が切れる前に証明書を更新しないと、ユーザが HTTPS を使用して Web コンソールにアクセスしたときに警告が表示されます。

手順

1. Cloud Manager コンソールの右上にある設定アイコンをクリックし、 * HTTPS セットアップ * を選択します。

   Cloud Manager 証明書の詳細が表示されます。有効期限も表示されます。

2. [HTTPS 証明書の更新] をクリックし、手順に従って CSR を生成するか、独自の CA 署名証明書をインストールします。

結果

Cloud Manager は新しい CA 署名付き証明書を使用して、セキュアな HTTPS アクセスを提供します。

Cloud Manager をリストアしています

。 "NetApp Cloud Central アカウント" Cloud Manager の設定を簡単にリストアできます。アカウントは Cloud Central で実行されるサービスであるため、アカウントに関連付けたユーザ、ワークスペース、およびサービスコネクタには常にアクセスできます。Cloud Manager システムが誤って削除された場合も同様です。

> 3.7.1 リリース以降、 Cloud Manager では、バックアップのダウンロードとリストアに使用することはできなくなりました。Cloud Manager をリストアするには、次の手順を実行する必要があります。

手順

1. 既存の Cloud Central アカウントに新しい Cloud Manager システムを導入します。

   "導入オプション"

2. Cloud Manager にクラウドプロバイダアカウントとネットアップサポートサイトアカウントを追加します。

   これにより、クラウドプロバイダで追加の Cloud Volumes ONTAP システムを作成できるようになり、Cloud Manager を使用できるようになります。

   この新しい Cloud Manager システムで検出する既存の Cloud Volumes ONTAP システムを AWS キーを使

用して導入した場合は、この手順を実行することが重要です。Cloud Volumes ONTAP を適切に検出して管理するには、 Cloud Manager で AWS キーが必要になります。

- "Cloud Manager に AWS アカウントを追加する"
- "Cloud Manager への Azure アカウントの追加"
- "Cloud Manager へのネットアップサポートサイトのアカウントの追加"

3. 作業環境を再検出します。 Cloud Volumes ONTAP システム、オンプレミスクラスタ、クラウド構成用の NetApp Private Storage などです。
   - "Cloud Manager に既存の Cloud Volumes ONTAP システムを追加"
   - "ONTAP クラスタの検出"

結果

これで、アカウント、設定、作業環境を使用して Cloud Manager の設定がリストアされます。

Cloud Manager をアンインストールしています

Cloud Manager にはアンインストールスクリプトが含まれており、このスクリプトを使用してソフトウェアをアンインストールし、問題のトラブルシューティングを行ったり、ホストからソフトウェアを完全に削除したりできます。

手順

1. Linux ホストからアンインストールスクリプトを実行します。
   - /opt/application/NetApp/cloudmanager/bin/uninstall.sh [サイレント] *

   silent_ 確認を求めずにスクリプトを実行します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。